



一般質問

情報過疎

視覚障害者への代筆
代読介助の普及推進を

「支援の充実に向け検討」



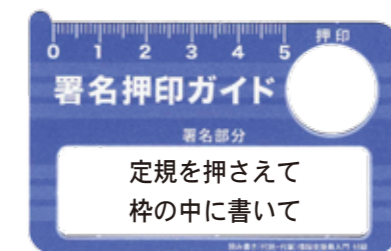
鈴木麗子議員

議員 障害者自立支援法の一部改正が行われ、今後、介護保険と同様の全障がい者のケアプ

出先での介護ヘルパーによる情報提供や介助が盛り込まれているが、本市の同行援護サービスへの取り組みはどうか。この他、東日本大震災被害の反省から、防災や防犯等の情報提供の充実も新規に掲げる内容となっている。今後、視覚障がい者が居宅で受ける家事援助サービスにおいて、介助者による新聞や郵便物の整理・お知らせ

等からの情報が代読代筆支援により十分に活用されるよう家事援助内容の確かな紹介と関係者への周知また研修の機会等へのお考えはどうか。

▼目が見えなくてもサインと押印はできる



(株) 大活字発行のサインガイド

すべての受験生に入学準備金利用の機会を

議員 公立進学者の中でも市立高校入学には一定の入学金納入が発生するが、利用受付期間の延長で対応はできないか。

教育部長 受験前より申請可能だが、審査期間等手続を考慮し検討。

三浦芳一議員

橋梁・上下水道の耐震化を計画的に促進せよ

「老朽化の調査で適切に維持管理」



議員 災害時にはライフラインの確保が重要

である。戸田市の道路、橋は大丈夫か。上下水道管の耐震化はどうか。大災害時に備えたインフラ整備を計画的に促進せよ。また、「川岸地区密集市街地」の改善を急げ。

ライフライン

上下水道部長 老朽化



水道の耐震管布設状況

の調査を行い、適切な維持管理に努め、耐震

都市整備部長 71橋の健全度調査は今年度ですべて完了。「川岸地区密集市街地」の改善は平成30年の事業完了を目指す。

犯罪の撲滅を図れ

議員 振り込め詐欺やひったくり事件等の被害が多発している。しっかりとした防犯対

策で犯罪撲滅を図れ。

市民生活部長 平成23年度中の実被害は振り込め詐欺6件、ひったくり48件、自転車盗561件、車上狙い181件、オートバイ盗116件、浸入盗110件。犯罪発生件数は減少しているが、今後も委託警備員の犯罪防止パトロール、警察官OBの青色回転灯装備車両による「目で見せて、音

その他の質問

Q 胃がん対策にピロリ菌検査の導入を。

A 情報収集に努め、国の動向に注意する。

Q 深夜帯の荒川土手で花火対策を図れ。

A 防犯パトロールと警察との連携で対処。

液状化対策

危険度マップを作成して市民に公表を

「先進地の情報を集め対応」

先進地の貴重な体験と取り組みの意が伝わったかなー



中名生隆議員

議員 東京湾北部地震の発生で、戸田市では

震度6強の揺れが起こり、市内全域で液状化が発生する可能性がある」と国の防災会議で公

神谷雄三議員

大災害発生前に備えるべきことがある

「候補地選定など準備を進める」



議員 今市は防災計画の新たな策定に向けて

業している。その中で応急仮設住宅については3公園以外は発災後の課題としている。主に県の仕事ではあるが、大災害時には市が主体的にやらなければならぬ事態もある。国土交通省は東日本大震災の反省のもと、市

町村に仮設住宅について事前に準備すべき課題を挙げている。まずは候補地の面積、所有者、取り付け道路、排水など、幾つも調査すべき項目がある。どう取り組むのか。

常時からの準備について検討を進める。



▲液状化の跡 能登半島地震・輪島市 (提供: 財団法人消防科学総合センター)

求めるべきである。

総務部長 公共工事で得た地盤調査結果の公開、液状化対策検討委員会の設置等、先進市の動向を調査研究し、検討していく。民間住宅液状化対策補償制度は、制度の動向を注視し、国に要望していく。

防災行政無線について

議員 災害時に音声が生室内にいても聞こえる

総務部長 2層化などの住戸形式はもとより、建物の配置、バリアフリー化など、市としての考え方を事前に検討しておくことにより、有事の際に速やかに対応できるよう準備を進めていく。

その他の質問

Q 住民サービスの品質確保に国際標準規格の認証を受けることを考えてはどうか。

A 研究していく。



▲コンテナを使った3階建ての仮設住宅 (宮城県女川町)